

Excel-Tex

ポリマーセメント系 塗膜防水材
(水和珪酸系塗膜防水材)



ユニオンセメント工業株式会社

人と環境にやさしく、安全性の高い 塗膜防水材、土木資材を通して、未来を築く。

ユニオン建材工業は1981年の設立以来、「環境」と「安全」に軸足を置いた製品開発を行ってきました。

ポリマーセメント系塗膜防水のエクセルテックスは、屋内外・地下・水槽用として広く採用され、

建築・土木分野で確固たる信頼を築いています。

さらに時代の流れとともに多様化するニーズへ柔軟にお応えするため、製品開発にも注力しており

特殊な補強布や通気緩衝資材などの副資材、各種仕上材や保護材との組み合わせによって、

通気緩衝工法、遮熱工法、防水・防食複合工法などの展開も確立してきました。

今後も、多様化する建築・土木分野の防水用途において、

人と建築の未来に貢献する製品開発を行ってまいります。

進化し続けるユニオン建材工業とエクセルテックス防水に、どうぞご期待ください。

Contents

- 3 エクセルテックスの特長
- 5 エクセルテックスの適用部位
- 7 屋外・屋内防水工法①
- 9 屋外・屋内防水工法②
- 11 屋外・屋内防水工法③
- 13 屋外・屋内防水工法④
- 15 通気緩衝工法 TK
- 17 通気緩衝工法 MT
- 19 通気緩衝工法 NW
- 21 水槽類・地下工法
- 23 防水・防食 複合工法
- 25 各部の標準納まりと下水処理
- 26 タキストロンとの複合防水システム
- 27 防水塗膜性能
- 29 製品性状
- 34 改修工事に使用するメリット
- 35 ELシステム【エポキシライニング】
- 37 実績例

エクセルテックス防水材は、 主にコンクリート・モルタルに塗布し柔軟 かつ強靱で バランスの取れた防水塗膜を形成します。

エクセルテックス防水材は、有害物を一切含まない環境対応型のポリマーセメント系塗膜防水材です。

現場で、高分子エマルジョンからなる主材と、アルミナセメント系特殊配合セメントからなる硬化材を調合し使用します。耐久性抜群の防水膜形成システムによる環境汚染のない安全作業工法で、「環境」と「安全」というキーワードをとおして社会に貢献します。

Excel-Tex の特長

優れた安全性

有害成分や引火性・可燃性成分を含んでいないので、火災や中毒の心配がなく、安全な作業環境の維持が可能です。

優れた追従性

塗膜に弾力性があり、しかも強靱なので、下地キレツの追従性に優れています。

優れた作業性

湿った下地でも施工が可能なので、工期の短縮を図ることができ、さらに雨仕舞も簡単で作業性に優れています。

優れた劣化防止性

オゾンや紫外線などによる経時変化への対応に優れています。また、中性化防止機能性、耐塩害性、耐酸性雨性などの機能を備え、躯体の保護に効果があります。

強力な耐久接着性

コンクリートをはじめ、各種の下地に対して強力な耐久接着性があります。

エクセルテックスは、施工性・経済性に優れたオールマイティな防水材です。

エクセルテックス防水は、多様化する建築・土木分野の防水用途に幅広くご使用いただける、防水工法をご用意しております。

サッシ廻り 屋外・屋内防水工法①・② (P8・10)



庇
屋外・屋内防水工法① (P8)

ベランダ 屋外・屋内防水工法①・②・③・④ (P8・10・12・14)



汚水槽 防水・防食複合法 (P24)
ELシステム (P36)



雨水貯留槽 水槽類・地下防水工法 (P22)



室内防水
(OAフロア
トレンチピット
浴室・厨房
トイレ)
屋外・屋内防水工法
①・②・③・④
(P8・10・12・14)

水槽
(防火水槽
飲料用水槽)
水槽類・地下防水工法 (P22)
防水・防食複合法 (P23・24)
ELシステム (P35・36)

※RC造の建築物を標準とします。
(RC造以外の下地の場合はご相談ください。)

屋上・急勾配屋根
屋上 通気緩衝工法 (TK・MT・NW) (P16・18・20)
屋外・屋内防水工法②・③・④ (P10・12・14)
急勾配屋根 屋外・屋内防水工法①・②・③・④ (P8・10・12・14)



大庇 屋外・屋内防水工法②・③・④ (P10・12・14)



ルーフバルコニー 屋外・屋内防水工法②・③・④ (P10・12・14)
通気緩衝工法 (MT) (P18)



開放廊下 (側溝+幅木) タキストロンとの
複合防水システム (P26)



地下外壁 水槽類・地下防水工法 (P22)



アンダーパス



スタンド



配水池



水路



動物園 (水槽・池)

金属屋根 (折板・瓦棒)・スレート屋根には『エクセルテックスBBシステム』で対応いたします。





屋外・屋内防水工法①は、小規模なベランダ・庇などの施工部位や比較的挙動の小さい部位に適用します。
また、サッシ廻りをはじめ切付部の防水処理などにも対応いたします。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr)気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5～1	2～6	1～6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程に進みください。

施工可能面積(㎡)

工 法	ET-100/ET-1号 (1セット)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1セット)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
104	18.1 (20.0)※	—	—	—	—	—
105		40	—	—	—	—
106		20	—	—	—	—
106U		—	50	—	—	—
106S		—	—	50	—	—
106F		—	—	—	37.5	—
106C		—	—	—	—	50

ETプライマー1[缶] 160㎡施工可能
※ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合です。

標準配合比(重量比)

プライマー	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/㎡)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー	—	—	16	16	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化剤を水で希釈し用いるプライマー
●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27[各種部材への付着とプライマーの選択]でご確認ください。

防水	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
仕上塗料			
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

施工用具

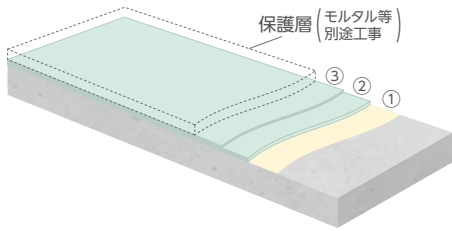
刷毛 ローラー

仮防水について	
■ ET-100/ET-1号 防水材をご使用の場合 例	
工程① プライマー	0.30kg/㎡ (ET-100 0.09kg / ET-1号 0.07kg / 水 0.14kg)
工程② 防水材	1.06kg/㎡ (ET-100 0.56kg / ET-1号 0.44kg / 水 0.06kg)
■ エポアンダーをご使用の場合 例	
下地調整兼仮防水(透水ゼロ)	
工程① エポアンダー	0.83kg/㎡ (主剤 / 硬化剤 / 粉体)
工程② エポアンダー	0.10kg/㎡ (主剤 / 硬化剤)
※下地の状態・新設防水との関係により選択願います。	

104工法

適用部位

- ひさし ●サッシ廻り
- OAフロア ●トレンチピット
- ベランダ ●トイレ



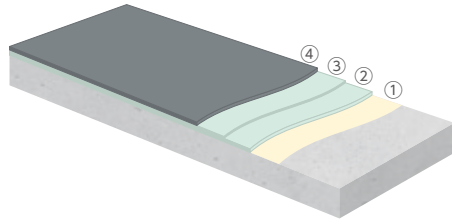
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	2.00	0.99	0.77	0.24

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

105工法

適用部位

- ベランダ ●トレンチピット
- ひさし ●OAフロア
- 幅木 ●側溝



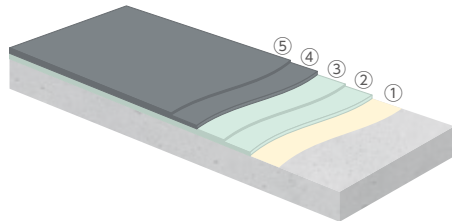
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	2.55	0.99	0.77	0.50	0.29

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

106工法

適用部位

- ベランダ ●開放廊下
- ひさし ●外部階段
- 幅木 ●側溝



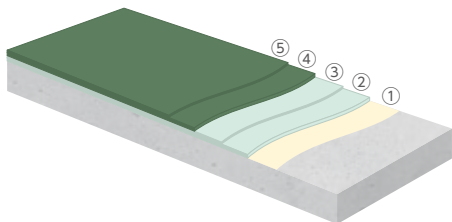
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	3.10	0.99	0.77	1.00	0.34

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

106U工法

適用部位

- ベランダ ●外部階段
- 開放廊下 ●ひさし
- 側溝 ●幅木



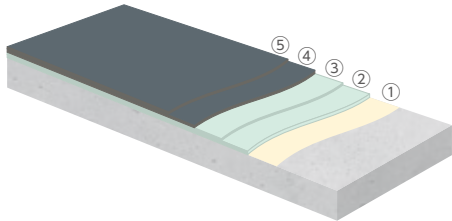
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-35	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
⑤ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
合計	2.34	0.99	0.77	0.32	0.26

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

106S工法

適用部位

- ベランダ ●外部階段
- 開放廊下 ●ひさし
- 側溝 ●幅木
- 急勾配屋根



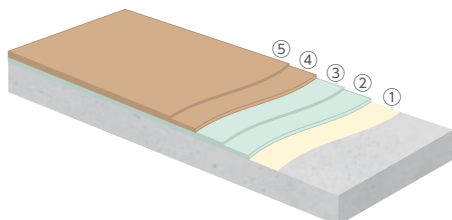
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-45	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑤シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	2.32	0.99	0.77	0.30	0.26

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

106F工法

適用部位

- 側溝 ●急勾配屋根
- 幅木 ●トレンチピット
- ひさし ●OAフロア



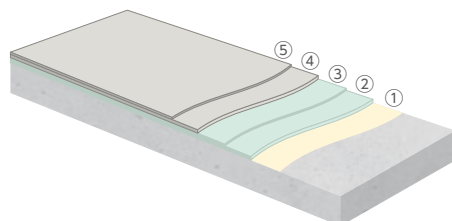
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-15	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
⑤フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
合計	2.44	0.99	0.77	0.40	0.28

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

106C工法(遮熱仕様)

適用部位

- ベランダ ●急勾配屋根
- ひさし ●側溝
- 開放廊下
- 幅木



	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	BBトップクールAU	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑤遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	2.32	0.99	0.77	0.30	0.26

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

- 気温 5℃以下での施工は避けてください。
- 降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。
- 詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。



屋外・屋内防水工法②は、エクセルテックス防水材と補強布を一体化させた密着工法です。
防水塗膜の補強効果に優れ、防水層の同時破断あるいはクリープ破断の低減効果があります。
下階に居室がある施工部位に適用します。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr)気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5～1	2～6	1～6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程に進みください。

施工可能面積(㎡)

工 法	ET-100/ET-1号 (1セット)	補強布 (1巻)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1セット)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
100	12.5 (13.3)※	100	—	—	—	—	—
101			40	—	—	—	—
102			20	—	—	—	—
102U			—	50	—	—	—
102S			—	—	50	—	—
102F			—	—	—	37.5	—
102C			—	—	—	—	50

ETプライマー-1[缶] 160㎡施工可能
※ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合です。

標準配合比(重量比)

プライマー	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/㎡)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー	—	—	16	16	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー
●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27「各種部材への付着とプライマーの選択」でご確認ください。

防水	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
防水塗材B	18	14	4	0.90
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
仕上塗料			
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

施工用具

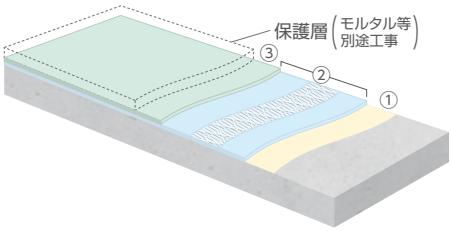
刷毛 ローラー

《注意》
屋上に施工の際は、仕様選定・詳細について各営業所までお問合せください。

100工法

適用部位

- 屋上
- トイレ
- 急勾配屋根
- 開放廊下
- ルーフバルコニー
- OAフロア
- サッシ廻り
- ベランダ
- (下階居室有)
- 厨房
- 浴室
- トレンチピット



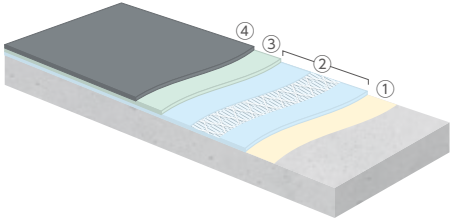
	kg/㎡	配合 (kg/㎡)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	0.14
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)			
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	2.95	1.44	1.12	0.39

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

101工法

適用部位

- 屋上
- OAフロア
- 急勾配屋根
- ルーフバルコニー
- ベランダ
- (下階居室有)
- 大庇
- トレンチピット



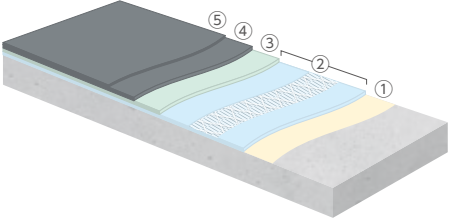
	kg/㎡	配合 (kg/㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	3.50	1.44	1.12	0.50	0.44

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

102工法

適用部位

- 屋上
- 急勾配屋根
- ルーフバルコニー
- 大庇
- ベランダ
- (下階居室有)
- 開放廊下



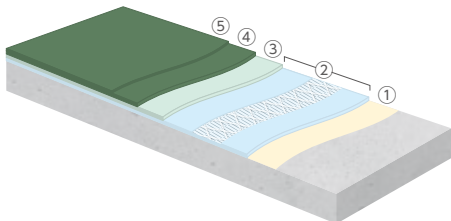
	kg/㎡	配合 (kg/㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	4.05	1.44	1.12	1.00	0.49

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

102U工法

適用部位

- 屋上
- 急勾配屋根
- 大庇
- ルーフバルコニー
- ベランダ
- (下階居室有)



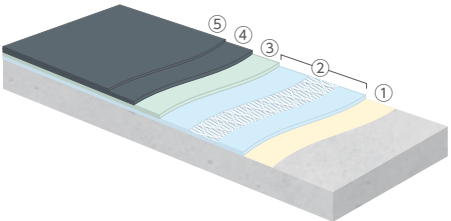
	kg/㎡	配合 (kg/㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-35	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
⑤ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
合計	3.29	1.44	1.12	0.32	0.41

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

102S工法

適用部位

- 屋上
- 急勾配屋根
- 大庇
- ルーフバルコニー
- ベランダ
- (下階居室有)



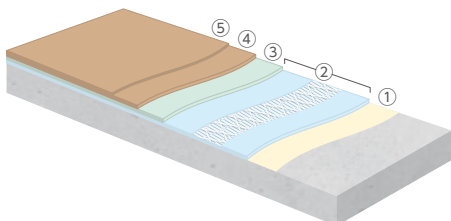
	kg/㎡	配合 (kg/㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-45	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑤シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	3.27	1.44	1.12	0.30	0.41

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

102F工法

適用部位

- 屋上
- 急勾配屋根
- 大庇



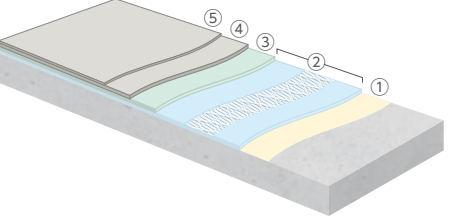
	kg/㎡	配合 (kg/㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-15	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
⑤フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
合計	3.39	1.44	1.12	0.40	0.43

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

102C工法(遮熱仕様)

適用部位

- 屋上
- ベランダ
- (下階居室有)
- 大庇
- ルーフバルコニー
- 急勾配屋根



	kg/㎡	配合 (kg/㎡)			
		ET-100	ET-1号	遮熱剤	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└─防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑤遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	3.27	1.44	1.12	0.30	0.41

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

- 気温 5℃以下での施工は避けてください。
- 降水・降雪・強風等の場合は予想される場合は施工を中止してください。
- 詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。



屋外・屋内防水工法③は、エクセルテックス防水材と補強布を一体化させた密着工法です。
防水塗膜の補強効果に優れ、防水層の同時破断あるいはクリープ破断の低減効果があります。
屋外・屋内防水工法②よりも防水材の塗布量も多く更に重要度の高い施工部位に適用します。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr)気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5～1	2～6	1～6 ^(注)

(注) 施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程に進みください。

施工可能面積(㎡)

工 法	ET-100/ET-1号 (1セット)	補強布 (1巻)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1セット)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
110	9.5 (10.0)※	100	—	—	—	—	—
111			40	—	—	—	—
112			20	—	—	—	—
112U			—	50	—	—	—
112S			—	—	50	—	—
112F			—	—	—	37.5	—
112C			—	—	—	—	50

ETプライマー1[缶] 160㎡施工可能
※ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合です。

標準配合比(重量比)

プライマー	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/㎡)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー	—	—	16	16	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー
●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27[各種部材への付着とプライマーの選択]でご確認ください。

防水	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
防水塗材B	18	14	4	0.90
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
仕上塗料			
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

施工用具

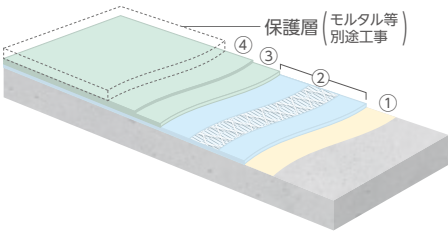
刷毛 ローラー

《注意》
屋上に施工の際は、仕様選定・詳細について各営業所までお問合せください。

110工法

適用部位

- 屋上
●トイレ
●ルーフバルコニー
●ベランダ
(下階居室有)
- 開放廊下
●厨房
●浴室



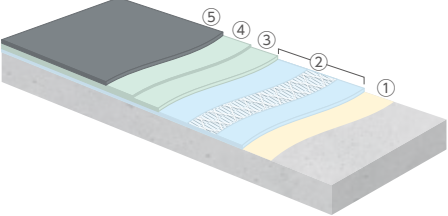
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	0.14
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)			
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	3.80	1.89	1.47	0.44

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

111工法

適用部位

- 屋上
●ベランダ
(下階居室有)
- ルーフバルコニー
●大庇



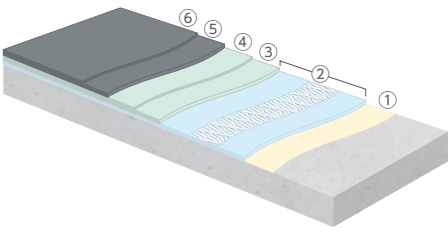
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	4.35	1.89	1.47	0.50	0.49

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

112工法

適用部位

- 屋上
●ベランダ
(下階居室有)
- ルーフバルコニー
●開放廊下
(下階居室有)
- 大庇



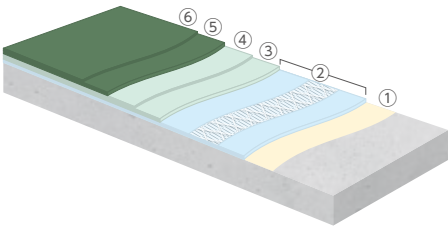
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	4.90	1.89	1.47	1.00	0.54

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

112U工法

適用部位

- 屋上
●ベランダ
(下階居室有)
- ルーフバルコニー
●開放廊下
(下階居室有)
- 大庇



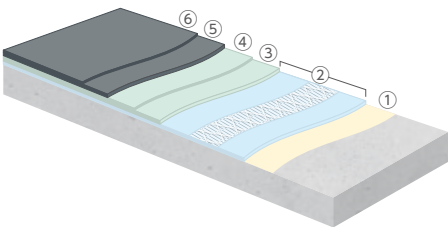
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-35	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
⑥ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
合計	4.14	1.89	1.47	0.32	0.46

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

112S工法

適用部位

- 屋上
●ベランダ
(下階居室有)
- ルーフバルコニー
●開放廊下
(下階居室有)
- 大庇
●急勾配屋根



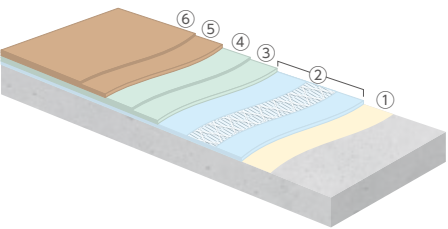
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-45	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑤シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	4.12	1.89	1.47	0.30	0.46

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

112F工法

適用部位

- 屋上
●急勾配屋根
- 大庇



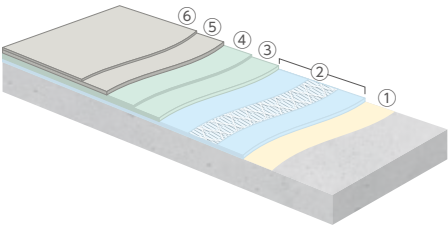
	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	ET-15	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
⑤フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
合計	4.24	1.89	1.47	0.40	0.48

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

112C工法(遮熱仕様)

適用部位

- 屋上
●ベランダ
(下階居室有)
- 大庇
●ルーフバルコニー
●急勾配屋根



	kg/㎡	配合 (kg /㎡)			
		ET-100	ET-1号	遮熱剤(別記)	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
└防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑤遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	4.12	1.89	1.47	0.30	0.46

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/㎡(水により2倍希釈したもの)

- 気温 5℃以下での施工は避けてください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。
- 降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。

屋外・屋内防水工法④ [ETハイパーメッシュ]



屋外・屋内防水工法④は、有機繊維として最高レベルの強度と弾性率を有するETハイパーメッシュを用いた、補強布入り密着工法の最上位の仕様です。補強布のETハイパーメッシュは、炭素と水素からできており燃やしても水と二酸化炭素になり有害物質を発生させません。また、耐アルカリ・耐候性・耐水性に優れています。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr)気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(m²)

工 法	ET-100/ET-1号	ETハイパーメッシュ	ET-25	ET-35	ET-45	ET-15	BBトップクールAU
	(1セット)	(1巻)	(1缶)	(1缶)	(1セット)	(1缶)	(1セット)
130	12.5 (13.3)※	100	—	—	—	—	—
131			40	—	—	—	—
132			20	—	—	—	—
132U			—	50	—	—	—
132S			—	—	50	—	—
132F			—	—	—	37.5	—
132C			—	—	—	—	50

ETプライマー1[缶] 160m²施工可能
※ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合です。

標準配合比(重量比)

プライマー	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー	—	—	16	16	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー
●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27[各種部材への付着とプライマーの選択]でご確認ください。

防水	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
仕上塗料			
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

●気温 5℃以下での施工は避けてください。 ●降雨・降雪・強風等の場合は予想される場合は施工を中止してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

130工法

適用部位

●屋上
●トイレ
●ルーフバルコニー
●ベランダ
(下階居室有)

●開放廊下
●厨房
●浴室
●浴室

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
③補強布	(ETハイパーメッシュ)			
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	2.85	1.44	1.12	0.29

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

131工法

適用部位

●屋上
●ベランダ
(下階居室有)

●ルーフバルコニー

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③補強布	(ETハイパーメッシュ)				
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	3.40	1.44	1.12	0.50	0.34

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

132工法

適用部位

●屋上
●ベランダ
(下階居室有)

●ルーフバルコニー
●開放廊下
(下階居室有)

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③補強布	(ETハイパーメッシュ)				
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
⑦トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	3.95	1.44	1.12	1.00	0.39

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

132U工法

適用部位

●屋上
●ベランダ
(下階居室有)

●ルーフバルコニー
●開放廊下
(下階居室有)

●急勾配屋根

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-35	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③補強布	(ETハイパーメッシュ)				
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑥ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
⑦ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
合計	3.19	1.44	1.12	0.32	0.31

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

132S工法

適用部位

●屋上
●ベランダ
(下階居室有)

●ルーフバルコニー
●開放廊下
(下階居室有)

●急勾配屋根

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-45	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③補強布	(ETハイパーメッシュ)				
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑥シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑦シャイニートップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	3.17	1.44	1.12	0.30	0.31

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

132F工法

適用部位

●屋上
●急勾配屋根

●大庇

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-15	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③補強布	(ETハイパーメッシュ)				
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
⑥フラットトップ	0.22	—	—	0.20	0.02
合計	3.29	1.44	1.12	0.40	0.33

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

132C工法(遮熱仕様)

適用部位

●屋上
●ベランダ
(下階居室有)

●ルーフバルコニー
●開放廊下
(下階居室有)

●急勾配屋根

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	遮熱剤	水
①プライマー材*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③補強布	(ETハイパーメッシュ)				
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑥遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
⑦遮熱トップ	0.16	—	—	0.15	0.01
合計	3.17	1.44	1.12	0.30	0.31

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

通気緩衝工法【TKシステム】



改質アスファルトシートを用いた複合防水システム

エクセルテックスTKシステムは、防水性・緩衝効果の高い改質アスファルトシートとエクセルテックス防水材との複合防水システムで、下地の水分の影響による防水層のフクレ発生を緩和するとともに下地挙動による防水層の破断を抑える効果があります。溶剤系材料を一切使用しない環境対応型の材料構成で、臭い・中毒・引火等の心配もなく、特に学校・病院・住環境下のマンション等の改修工事に適しています。

乾燥時間の目安
(乾燥時間(hr)気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(m²)

工 法	ETプライマー (1セット)	TK通緩シート (1セット)	ET-100/ET-1号 (1セット)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1セット)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
TK-1	80	14.4	13.3	40	—	—	—	—
TK-2				20	—	—	—	—
TK-2U				—	50	—	—	—
TK-2S				—	—	50	—	—
TK-2F				—	—	—	37.5	—
TK-2C				—	—	—	—	50

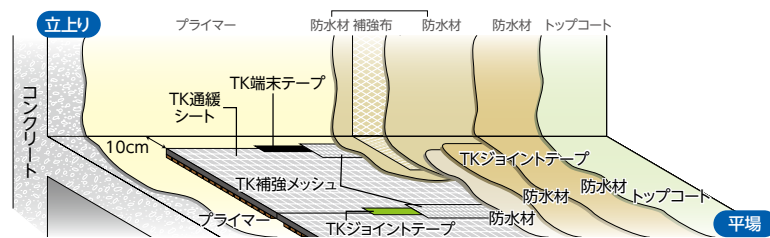
標準配合比(重量比)

プライマー	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
ETプライマー	16	8	0.30

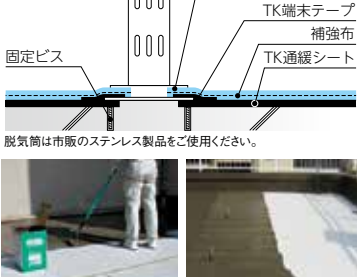
防水	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材B	18	14	4	0.90
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

TK-1工法・納り図



脱気筒



施工用具

転圧ローラー
刷毛
ローラー

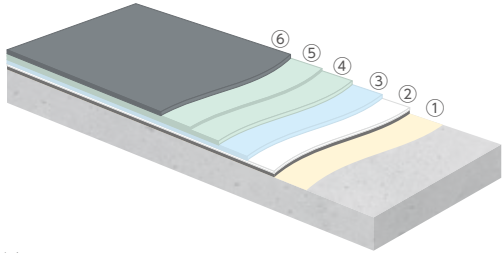
- 気温 5℃以下での施工は避けてください。
- 詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

- 降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。

TK-1工法

適用部位

- 屋上



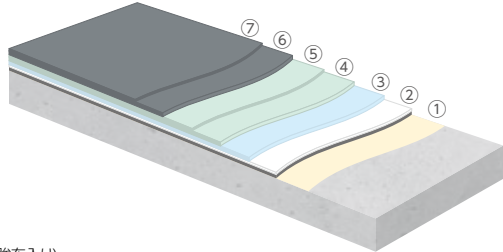
※立上り部は101工法(密着工法・補強布入り)

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート・TKジョイントテープ・TK末端テープ・TK補強メッシュ)					
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—	0.10
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
合計	3.45	0.20	1.35	1.05	0.50	0.35

TK-2工法

適用部位

- 屋上



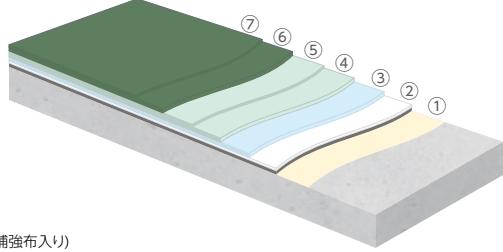
※立上り部は102工法(密着工法・補強布入り)

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート・TKジョイントテープ・TK末端テープ・TK補強メッシュ)					
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—	0.10
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
⑦トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
合計	4.00	0.20	1.35	1.05	1.00	0.40

TK-2U工法

適用部位

- 屋上



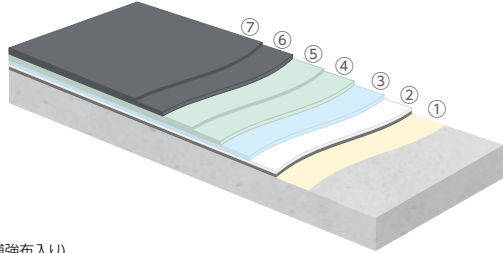
※立上り部は102U工法(密着工法・補強布入り)

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-35	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート・TKジョイントテープ・TK末端テープ・TK補強メッシュ)					
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—	0.10
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥ウレタントップ	0.17	—	—	—	0.16	0.01
⑦ウレタントップ	0.17	—	—	—	0.16	0.01
合計	3.24	0.20	1.35	1.05	0.32	0.32

TK-2S工法

適用部位

- 屋上



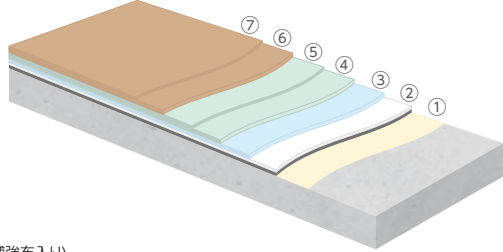
※立上り部は102S工法(密着工法・補強布入り)

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-45	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート・TKジョイントテープ・TK末端テープ・TK補強メッシュ)					
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—	0.10
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
⑦シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
合計	3.22	0.20	1.35	1.05	0.30	0.32

TK-2F工法

適用部位

- 屋上



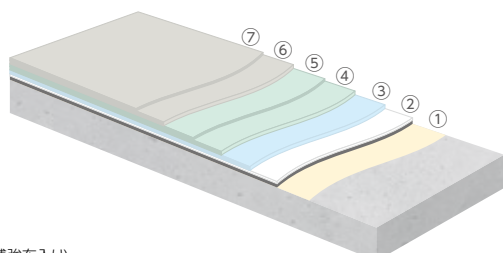
※立上り部は102F工法(密着工法・補強布入り)

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-15	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート・TKジョイントテープ・TK末端テープ・TK補強メッシュ)					
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—	0.10
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥フラットトップ	0.22	—	—	—	0.20	0.02
⑦フラットトップ	0.22	—	—	—	0.20	0.02
合計	3.34	0.20	1.35	1.05	0.40	0.34

TK-2C工法(遮熱仕様)

適用部位

- 屋上



※立上り部は102C工法(密着工法・補強布入り)

	kg/m ²	配合 (kg / m ²)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	BBトップクール	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート・TKジョイントテープ・TK末端テープ・TK補強メッシュ)					
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—	0.10
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥遮熱トップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
⑦遮熱トップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
合計	3.22	0.20	1.35	1.05	0.30	0.32

通気緩衝工法 [MTシステム]



特殊構造通気シートを用いた作業性に優れる通気緩衝工法

エクセルテックスMTシステムは、従来の通気緩衝工法とは違い、接着剤やジョイントテープ・端末テープ等による処理を必要としません。また、MTシートの貼り付け作業は、部分的に穴の空いているMTシートの上から防水材を塗布し、その穴を利用して下地へ付着させるので、補強布入り防水工法と同様の要領で、特に作業効率に優れた通気緩衝工法です。防水層のフクレを緩和し、下地の挙動による防水層の破断を抑える効果を備えており、集合住宅等の改修工事で溶剤系の材料による臭い・中毒等による問題が懸念される現場や工期短縮を求められる現場に最適です。

乾燥時間の目安
(乾燥時間 (hr) 気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6 ^(注)

(注) 施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(㎡)

工 法	ETプライマー (1セット)	MTシート (1巻)	ET-100/ET-1号 (1セット)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1セット)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
MT-1	160	49	11.1	40	—	—	—	—
MT-2				20	—	—	—	—
MT-2U				—	50	—	—	—
MT-2S				—	—	50	—	—
MT-2F				—	—	—	37.5	—
MT-2C				—	—	—	—	50

標準配合比(重量比)

プライマー				
	ETプライマー	水	塗布量(kg/㎡)	
ETプライマー	16	16	0.20	

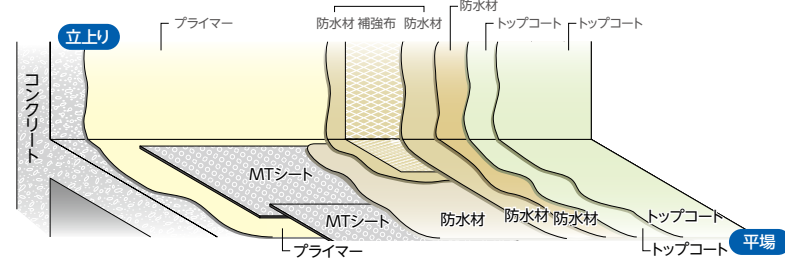
防水				
	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
防水塗材C	18	14	0	1.28
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料				
	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

刷毛
ローラー
コテ

MT-2工法・納り図



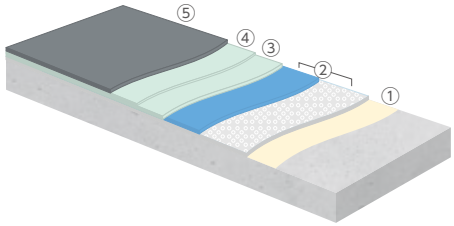
施工上の注意点

- ① 施工面は下地調整材等により平滑処理を行ってください。
- ② 脱気筒は目地部等に市販の製品を設置してください。
- ③ MTシートは入隅から10mm程度離れた位置から貼付けてください。
- ④ MTシートのジョイント部は10~20mm程度ラップさせてください。
- ⑤ MTシートの裏面は粘着剤が付いているので、下地に仮敷きしウーローラーで転圧を行ってください。
- ⑥ 防水塗材Cは水による希釈を行わないでください。
- ⑦ MTシートの貼付け作業時、シートとシートのジョイント部をラップさせてから防水材の塗布を行うか、後からラップさせる場合は、ジョイント部分に塗布しろを残して防水材を塗布してください。(連続した通気層を確保するために行います)
- ⑧ 防水塗材Cの塗布はコテ・ゴムベラ・ローラー等を使用してください。
- ⑨ 施工は平場から行い、立上り面に進んでください。

MT-1工法

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー



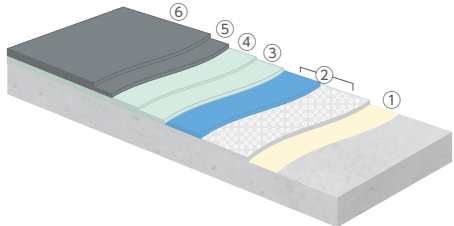
※立上り部は101工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②通気シート	(MTシート)					
③防水塗材 C	1.28	—	0.72	0.56	—	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
合計	3.73	0.10	1.62	1.26	0.50	0.25

MT-2工法

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー



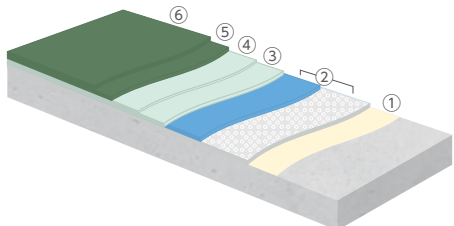
※立上り部は102工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②通気シート	(MTシート)					
③防水塗材 C	1.28	—	0.72	0.56	—	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
合計	4.28	0.10	1.62	1.26	1.00	0.30

MT-2U工法

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー



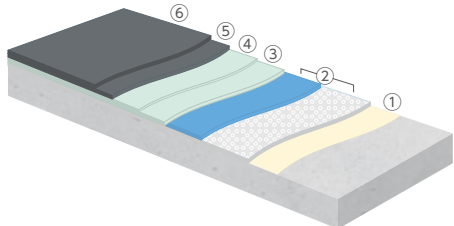
※立上り部は102U工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-35	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②通気シート	(MTシート)					
③防水塗材 C	1.28	—	0.72	0.56	—	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥ウレタントップ	0.17	—	—	—	0.16	0.01
⑦ウレタントップ	0.17	—	—	—	0.16	0.01
合計	3.52	0.10	1.62	1.26	0.32	0.22

MT-2S工法

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー



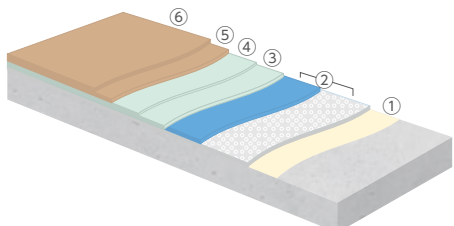
※立上り部は102S工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-45	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②通気シート	(MTシート)					
③防水塗材 C	1.28	—	0.72	0.56	—	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
⑦シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
合計	3.50	0.10	1.62	1.26	0.30	0.22

MT-2F工法

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー



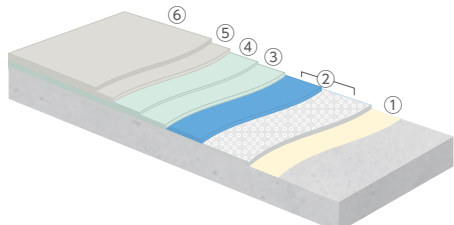
※立上り部は102F工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-15	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②通気シート	(MTシート)					
③防水塗材 C	1.28	—	0.72	0.56	—	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥フラットトップ	0.22	—	—	—	0.20	0.02
⑦フラットトップ	0.22	—	—	—	0.20	0.02
合計	3.62	0.10	1.62	1.26	0.40	0.24

MT-2C工法(遮熱仕様)

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー



※立上り部は102C工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		ETプライマー	ET-100	ET-1号	BBトップクール	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②通気シート	(MTシート)					
③防水塗材 C	1.28	—	0.72	0.56	—	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥遮熱トップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
⑦遮熱トップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
合計	3.50	0.10	1.62	1.26	0.30	0.22

- 気温 5℃以下での施工は避けてください。
- 詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

- 降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。

通気緩衝工法 [NWシステム]



不織布タイプの通気シートを用いた通気緩衝工法。

NWシステムは、NWシート(2層構造合成繊維不織布:通気緩衝シート)を用いた通気緩衝工法で、シンダーコンクリート等の下地の挙動による防水層の破断を防ぎ、また、下地からの水分を分散させ脱気筒から排出することで防水層のふくれを緩和させます。NWシステムは、溶剤系材料を一切使用しない水系の材料構成で溶剤臭・中毒・引火の心配がなく、特に学校・病院・住環境下のマンション等の改修工事に適しています。

乾燥時間の目安

(乾燥時間(hr)気温20℃・60%RH)

NW接着剤	防水材	仕上塗料
1〜3	2〜6	1〜6 ^(注)

(注) 施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程に進みください。

施工可能面積(㎡)

工 法	NW接着剤 (1缶)	NWシート (1巻)	ET-100/ET-1号 (1セット)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1缶)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
NW-1	72	50	13.3	40	—	—	—	—
NW-2				20	—	—	—	—
NW-2U				—	50	—	—	—
NW-2S				—	—	50	—	—
NW-2F				—	—	—	37.5	—
NW-2C				—	—	—	—	50

標準配合比(重量比)

接着剤	容量	水	塗布量(kg/㎡)
NW接着剤	18	希釈なし	0.25

防水	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/㎡)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

施工用具

刷毛
ローラー

施工の流れ



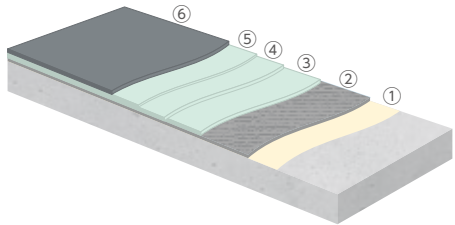
- 気温 5℃以下での施工は避けてください。
- 詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

- 降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。

NW-1工法

適用部位

- 屋上



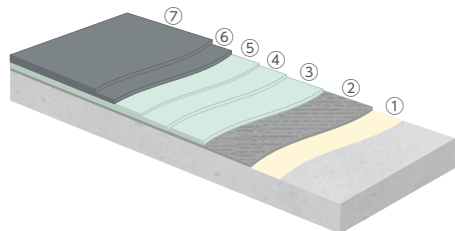
※立上り部は101工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)					
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
合計	3.35	0.25	1.35	1.05	0.50	0.20

NW-2工法

適用部位

- 屋上



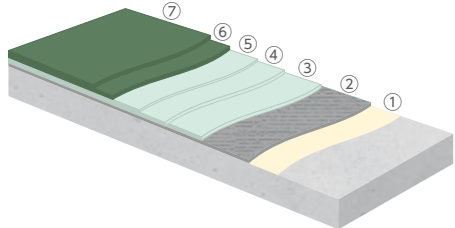
※立上り部は102工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)					
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
⑦トップコート	0.55	—	—	—	0.50	0.05
合計	3.90	0.25	1.35	1.05	1.00	0.25

NW-2U工法

適用部位

- 屋上



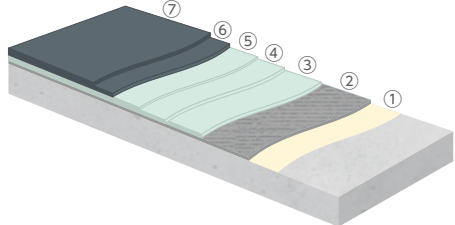
※立上り部は102U工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-35	水
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)					
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥ウレタントップ	0.17	—	—	—	0.16	0.01
⑦ウレタントップ	0.17	—	—	—	0.16	0.01
合計	3.14	0.25	1.35	1.05	0.32	0.17

NW-2S工法

適用部位

- 屋上



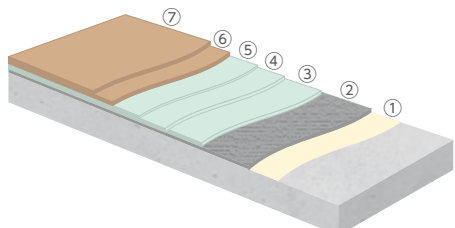
※立上り部は102S工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-45	水
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)					
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
⑦シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
合計	3.12	0.25	1.35	1.05	0.30	0.17

NW-2F工法

適用部位

- 屋上



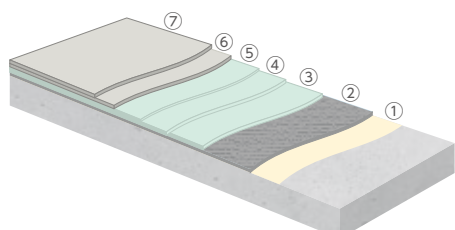
※立上り部は102F工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-15	水
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)					
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥フラットトップ	0.22	—	—	—	0.20	0.02
⑦フラットトップ	0.22	—	—	—	0.20	0.02
合計	3.24	0.25	1.35	1.05	0.40	0.19

NW-2C工法(遮熱仕様)

適用部位

- 屋上



※立上り部は102C工法(密着工法・補強布入り)

	kg/㎡	配合 (kg /㎡)				
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	BBトップクールAU	水
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)					
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—	0.05
⑥遮熱トップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
⑦遮熱トップ	0.16	—	—	—	0.15	0.01
合計	3.12	0.25	1.35	1.05	0.30	0.17



水槽類・地下防水工法は、塗膜の硬化性・強靱さに優れた防水材の特長により水槽や地下外壁等の施工部位に適用します。
300シリーズはEVA系、500シリーズはアクリル系の防水塗膜です。
500シリーズは、特に耐水性に優れており消火水槽を始め一般的な水を貯める水槽の場合には保護層を必要としません。

乾燥時間の目安
(乾燥時間(hr)気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	ETコート#600	ETコート#800
0.5～1	4～8	12 ^(注)	12 ^(注)

(注)水槽類の水張りは、最終工程後、7日間以上養生の後、行ってください。
(注)水槽類以外の用途の場合は、最終工程後、3日以上養生してください。
※乾燥時間は、施工環境によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

標準配合比(重量比)

プライマー	ET-300	ET-3号	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
トモプライマー	18	24	—	48	0.30
ETプライマー	—	—	16	16	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー
●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27「各種部材への付着とプライマーの選択」でご確認ください。

300シリーズ

	ET-300	ET-3号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材	18	24	—	1.26

500シリーズ

	ET-500	ET-5号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材	18	36	0.45*	1.21

※水の混合量は重量比で1%以内

施工可能面積(m²)

工 法	ET-300/ET-3号	ET7*プライマー	ET-500/ET-5号	ET-600		ET-800
	(1セット)	(1缶)	(1セット)	A-1	A-2	(1セット)
300	15.7 (16.6)	—	—	—	—	—
301				15	45	—
302				—	—	13.7
500	—	160	22.5	—	—	—
501				15	45	—
502				—	—	13.7

ETプライマー1[缶] 160m²施工可能
※ET-300/ET-3号の()内はETプライマー使用時の場合です。

保護材

	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ETコート#600 A-1	26	1.2	1.81
ETコート#600 A-2	78	3.6	1.81
ETコート#800	22	—	1.60

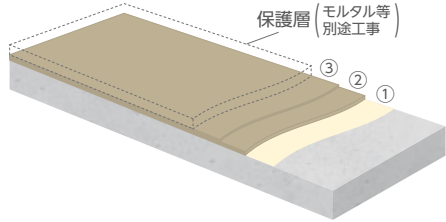
施工用具

金ゴテ 刷毛 ローラー(プライマー)

300工法

適用部位

- 地下外壁
- 消火水槽
- 雨水貯留槽
- 池



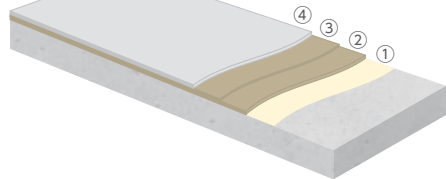
	kg/m ²	配合		
		ET-300	ET-3号	水
①プライマー材*	0.30	0.06	0.08	0.16
②防水塗材	1.26	0.54	0.72	—
③防水塗材	1.26	0.54	0.72	—
合計	2.82	1.14	1.52	0.16

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

301工法

適用部位

- 地下外壁
- EVピット
- 消火水槽
- 雨水貯留槽
- 地下内壁
- 池



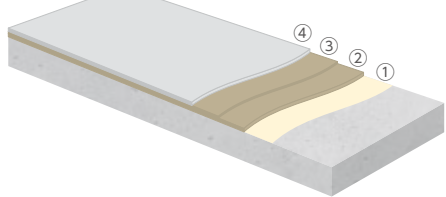
	kg/m ²	配合			
		ET-300	ET-3号	ET-600	水
①プライマー材*	0.30	0.06	0.08	—	0.16
②防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
③防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
④ETコート#600	1.81	—	—	1.73	0.08
合計	4.63	1.14	1.52	1.73	0.24

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

302工法

適用部位

- 水槽
(軽度耐食環境の水槽)
- EVピット
- 防油堤



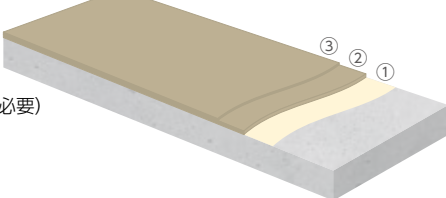
	kg/m ²	配合			
		ET-300	ET-3号	ET-800	水
①プライマー材*	0.30	0.06	0.08	—	0.16
②防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
③防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
④ETコート#800	1.60	—	—	1.60	—
合計	4.42	1.14	1.52	1.60	0.16

※ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

500工法

適用部位

- 消火水槽
- 雨水貯留槽
- 池
- 地下外壁
(地下外壁には別途保護層が必要)

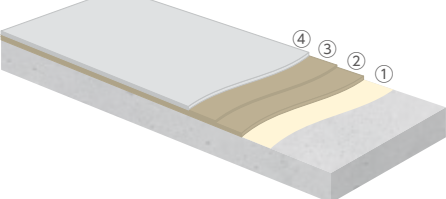


	kg/m ²	配合			
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	0.01
合計	2.62	0.10	0.80	1.60	0.12

501工法

適用部位

- 地下外壁
- EVピット
- 消火水槽
- 雨水貯留槽
- 地下内壁
- 池

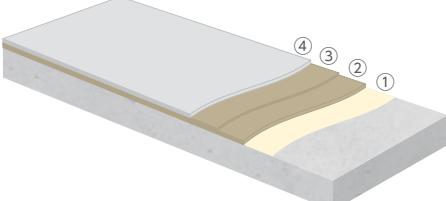


	kg/m ²	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	ET-600	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④ETコート#600	1.81	—	—	—	1.73	0.08
合計	4.43	0.10	0.80	1.60	1.73	0.20

502工法

適用部位

- 水槽
(軽度耐食環境の水槽)
- EVピット
- 防油堤



	kg/m ²	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	ET-800	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④ETコート#800	1.60	—	—	—	1.60	—
合計	4.22	0.10	0.80	1.60	1.60	0.12

●温度 5 ～ 35℃以内、湿度 85%以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
●塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

●湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

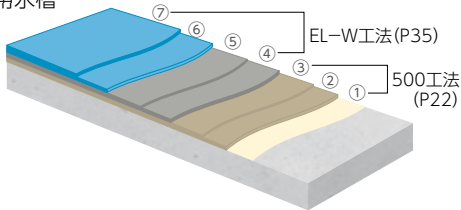
防水・防食複合法



エクセルテックス防水にエポキシライニング材による防食機能をプラスした防水工法です。
柔軟性があり しかも強靱なエクセルテックス防水層をエポキシライニングの下層に設けることで、コンクリートのひび割れに対する追従性が向上します。

500工法+EL-W工法

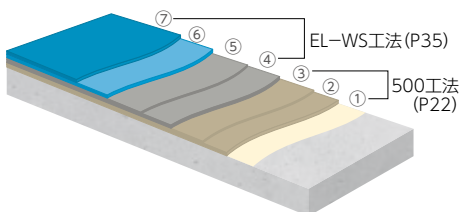
- 適用部位
- 屋内 飲料用水槽



	kg/m ³	配合					
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EL-3000	EL-3100	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	0.01
④ELコート#3000	0.40	—	—	—	0.40	—	—
⑤ELコート#3000	0.40	—	—	—	0.40	—	—
⑥ELコート#3100	0.20	—	—	—	—	0.20	—
⑦ELコート#3100	0.20	—	—	—	—	0.20	—
合計	3.82	0.10	0.80	1.60	0.80	0.40	0.12

500工法+EL-WS工法

- 適用部位
- 屋外 飲料用水槽



	kg/m ³	配合						
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EL-4000	EL-4100	EL-4200	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	—	0.01
④ELコート#4000	0.40	—	—	—	0.40	—	—	—
⑤ELコート#4000	0.40	—	—	—	0.40	—	—	—
⑥ELコート#4100	0.20	—	—	—	—	0.20	—	—
⑦ELコート#4200	0.20	—	—	—	—	—	0.20	—
合計	3.82	0.10	0.80	1.60	0.80	0.20	0.20	0.12

乾燥時間の目安

(乾燥時間 (hr) 気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	EL-3000	EL-3100	EL-4000	EL-4100	EL-4200
0.5~1	4~8	12	16 ^(注)	12	16 ^(注)	12 ^(注)

(注)水槽類の水張りは最終工程後7日以上養生後行ってください。

(注)防水層(ET-500/ET-5号)の塗布後48時間以上硬化養生させてから次工程の塗材を塗布してください。

※乾燥時間は、施工環境により変動します。

施工可能面積(m²)

工 法	ETプライマー (1缶)	ET-500/ET-5号 (1セット)	EL-3000 (1セット)	EL-3100 (1セット)	EL-4000 (1セット)	EL-4100 (1セット)	EL-4200 (1セット)
500	160	22.5	—	—	—	—	—
EL-W	—	—	37.5	62.5	—	—	—
EL-WS	—	—	—	—	37.5	120	120

施工用具

金ゴテ ゴムゴテ 刷毛 ローラー (ETプライマー・ELコート#3100・ELコート#4100・ELコート#4200)

- 温度 5 ~ 35℃以内、湿度 85%以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
- 塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

標準配合比(重量比)

プライマー

	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
ETプライマー	16	16	0.20

防水

	ET-500	ET-5号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材	18	36	0.45 [*]	1.21

※水の混合量は重量比で1%以内

保護塗料

	容量	シンナー	1工程の塗布量(kg/m ²)
ELコート#3000	30	—	0.40
ELコート#3100	25	—	0.20
ELコート#4000	30	—	0.40
ELコート#4100	30	2~6	0.20
ELコート#4200	30	0~2	0.20

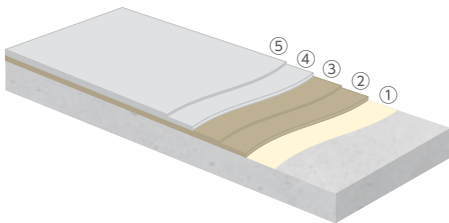
※ELコート#4100とELコート#4200は専用シンナーで希釈してください。

※専用シンナーは塗布量に含まれておりません。

503-A工法

適用部位

- 汚水槽
(硫化水素の発生のない)

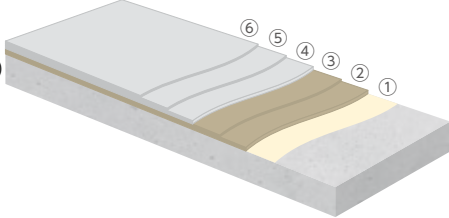


	kg/m ³	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	ET-1000	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④ETコート#1000	0.20	—	—	—	0.20	—
⑤ETコート#1000	0.20	—	—	—	0.20	—
合計	3.02	0.10	0.80	1.60	0.40	0.12

503-B工法

適用部位

- 汚水槽
(硫化水素の発生が少ない)

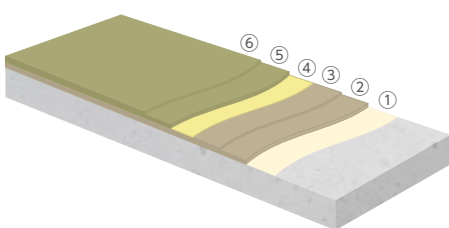


	kg/m ³	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	ET-1000	水
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④ETコート#1000	0.20	—	—	—	0.20	—
⑤ETコート#1000	0.20	—	—	—	0.20	—
⑥ETコート#1000	0.20	—	—	—	0.20	—
合計	3.22	0.10	0.80	1.60	0.60	0.12

503-CT工法

適用部位

- 汚水槽
- 雑排水槽
- 厨房排水槽

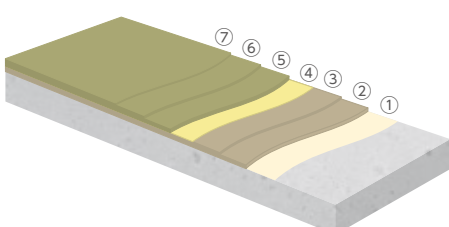


	kg/m ³	配合					
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EGエポプライマー	EG-5000	EG-5100
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	—	—
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	—
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	—
④EGエポプライマー	0.15	—	—	—	0.15	—	—
⑤EGコート#5000	0.80	—	—	—	—	0.80	—
⑥EGコート#5100	0.40	—	—	—	—	—	0.40
合計	3.97	0.10	0.80	1.60	0.15	0.80	0.40

503-DT工法

適用部位

- 汚水槽
- 雑排水槽
- 厨房排水槽



	kg/m ³	配合					
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EGエポプライマー	EG-5000	EG-5100
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	—	—
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	—
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	—	—
④EGエポプライマー	0.15	—	—	—	0.15	—	—
⑤EGコート#5000	0.80	—	—	—	—	0.80	—
⑥EGコート#5000	0.80	—	—	—	—	0.80	—
⑦EGコート#5100	0.40	—	—	—	—	—	0.40
合計	4.77	0.10	0.80	1.60	0.15	1.60	0.40

乾燥時間の目安

(乾燥時間 (hr) 気温20℃・60%RH)

プライマー	防水材	ET-1000	EGエポプライマー	EG-5000	EG-5100
0.5~1	4~8	12 ^(注)	16	12	12 ^(注)

(注)水槽類の水張りは最終工程後7日以上養生後行ってください。

(注)503-A・503-B:防水層(ET-500/ET-5号)の塗布後48時間以上硬化養生し次工程のETコート#1000を塗布してください。

(注)503-CT・503-DT:防水層(ET-500/ET-5号)の塗布後48時間以上硬化養生し次工程のEGエポプライマーを塗布してください。

※乾燥時間は、施工環境により変動します。

施工可能面積(m²)

工 法	ETプライマー (1缶)	ET-500/ET-5号 (1セット)	ET-1000 (1セット)	EGエポプライマー (1セット)	EG-5000 (1セット)	EG-5100 (1セット)
503-A	160	22.5	37.5	—	—	—
503-B			25	—	—	—
503-CT			—	53.3	18.75	37.5
503-DT			—		9.375	

施工用具

金ゴテ ゴムゴテ 刷毛 ローラー (ETプライマー・ETコート#1000・EGエポプライマー)

- 温度 5 ~ 35℃以内、湿度 85%以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
- 塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

標準配合比(製品は荷姿比)

プライマー

	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
ETプライマー	16	16	0.20

防水

	ET-500	ET-5号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材	18	36	0.45 [*]	1.21

※水の混合量は重量比で1%以内

保護塗料

	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ETコート#1000	15	—	0.20
EGエポプライマー	8	—	0.15
EGコート#5000	15	—	0.80
EGコート#5100	15	—	0.40

- 湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
- 詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

防水塗膜性能

エクセルテックス防水材の製品情報

	屋外屋内シリーズ①～③	水槽類・地下シリーズ	
材料種別	Aタイプ	Bタイプ	
ポリマー混和液(固形分)	53%(ET-100)	56%(ET-300)	55%(ET-500)
ポリマー混和液／調合粉体 混合比	18kg／14kg	18kg／24kg	18kg／36kg
全固形分	73.6%	81.1%	85.0%
硬化塗膜比重	1.4	1.7	1.5

防水材塗膜の品質

項目			(用 途) (防水材)	屋外・屋		水槽類・地下		
				100系配合 (104工法)	Aタイプ 基準値	300系配合 (300工法)	500系配合 (500工法)	Bタイプ 基準値
引張強さ(N／mm)				1.5	0.6以上	2.5	2.8	1.0以上
破断時の伸び率(%)				240	100以上	80	37	30以上
ゼロスパン テンション 伸び量(mm)	標 準			3.4	2.0以上	3.2	1.6	1.0以上
	劣化 処理後	加熱処理		3.3	1.5以上	-	-	-
		アルカリ処理		2.4	1.5以上	2.2	1.4	1.0以上
付着強さ (N／mm)	標 準			1.9	0.5以上	2.2	1.5	0.7以上
	湿潤下地			1.8	0.5以上	2.4	1.2	0.7以上
	劣化 処理後	加熱処理		2.2	0.5以上	-	-	-
		アルカリ処理		2.6	0.5以上	2.5	1.1	0.7以上
		浸水処理		2.2	0.5以上	2.4	1.1	0.7以上
透水量		透水量		0.10	透水量0.5g以下	0.15	0.22	透水量0.5g以下
		漏水の有無		無し	漏水がないこと	無し	無し	漏水がないこと

1)品質基準値(Aタイプ、Bタイプ)は、ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)／日本建築学会による。
2)試験方法:上記施工指針(案)の参考資料2に準じて行った。

補強布を用いた防水材塗膜の品質

項 目			100工法			130工法	補強布入り基準値
			ETメッシュ	ETメッシュ2	ETクロス	ET/ハイパーメッシュ	
ゼロスパンテンション 伸び量(mm)	標 準		4.4	4.5	4.7	6.3	3.0以上
	劣 化 処理後	加熱処理	3.2	3.0	3.9	5.4	2.0以上
		アルカリ処理	3.6	3.1	5.0	5.9	2.0以上
付着強さ (N／mm)	標 準		1.8	1.8	1.8	1.8	0.5以上

1)品質基準値は、ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)／日本建築学会による。
2)試験方法:上記施工指針(案)の参考資料3に準じて行った。

各種部材への付着とプライマーの選択

部 材	ETプライマー	トモプライマー	備考
コンクリート	○	○	
モルタル	○	○	
鉛ドレン	○	○	
銅製ドレン	○	×	
鉄板	×	○	注意:トモプライマーで付着は可能だが、実用的には施工前に防錆処理しETプライマーを塗布
トタン	×	×	
硬質塩ビ	○	○	
アルミサッシ	○	○	
玄関タイル	○	×	付着は可能 取り合い程度に限る 全体施工の場合は下地の平滑処理が必要(下地処理)
磁器タイル	○	×	付着は可能 取り合い程度に限る 全体施工の場合は下地の平滑処理が必要(下地処理)
ゴムシート	○	×	
塩ビシート	×	×	
ウレタン防水	○	×	注意:可塑剤の影響によりブリード汚染の可能性あり
ゴムアスファルト防水	○	×	
FRP防水	○	×	FRP表層を目粗し処理 小面積の対応
コロニアル	○	○	付着は可能 実用的には防水工法の設定がなく不可
シングル	○	○	付着は可能 実用的にはBBシステムのシングル屋根対応工法
砂付ルーフィング	○	○	付着は可能 実用的には下地の平滑処理が必要(下地調整)
シルバー塗料	×	×	

トモプライマー:防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー
※各種部材への付着性のみを評価しております。納まり等は各営業所にお問い合わせ願います。

耐薬品性

水槽用材料(工法)の貯蔵対象は水を主体とするものでありますが、各種薬品が混合された場合の耐性を調べた。
原料貯蔵タンク等への使用は防水材中の成分が微量溶け出す可能性があるので避けてください。

薬品		濃度	工法								
		301	302	500	501	502	503-B	EL-W	EL-WS	EG-CT	
水	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
酸	塩酸	10%	×	×	×	×	×	○	×	○	○
	硫酸	10%	×	×	×	×	×	○	×	○	○
	酢酸	10%	×	×	×	×	×	△	×	×	○
アルカリ	水酸化ナトリウム（苛性ソーダー）	10%	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	水酸化カルシウム	飽和	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	セメント水	飽和	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩	食塩	飽和	○	○	○	○	○	○	○	○	○
殺菌剤	次亜塩素酸ソーダー	0.5ppm	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		5ppm	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		100ppm	○	○	○	○	○	×	×	○	△
溶剤	キシレン	100%	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	エタノール	95%	×	×	○	○	○	○	×	×	○
鉱物油	マシンオイル	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【試験方法】モルタル板(70×70×20mm)上に各工法で防水塗膜を作成(n=2)、2週間養生後、防水塗膜塗工面以外の5面をエポキシ樹脂で塗り包み各薬品に6ヶ月間浸漬して状態変化を観察した。
評価方法：○:異常なし △:多少異常あり ×:異常あり(膨潤、ブリストア、浮き、劣化)

トップコートの耐摩耗性

各種仕上塗料の耐摩耗性を調べた。URの耐摩耗性試験よりも厳しい条件で行っていますが品質基準値(200mg以下)をクリアしています。

トップコートの種類		摩耗減量 (mg)
ET-15 (フラットトップ)		115
ET-25 (トップコート)		115
ET-35 (ウレタントップ)	珪砂なし	48
	珪砂あり	64
ET-45 (シャイニートップ)	珪砂なし	42
	珪砂あり	61
BBトップクールAU (遮熱トップ)	珪砂なし	36
	珪砂あり	62

※試験方法:JIS K5600-5-9Iに準じて実施。 摩耗輪:CS-17 荷重:1000g 摩耗回数:1000回 回転数:60rpm

上塗り材付着性

防水塗膜の上へ上塗り材を塗布して付着性を調べた。

上塗り材	工法	付着強さ(N/mm2)		
		ET-100/ET-1号[9/7]	ET-300/ET-3号[9/12]	ET-500/ET-5号[9/18]
標準モルタル		1.0	1.1	1.1
	ETコート#600	1.1	1.4	1.3
	ETコート#800	1.4	1.4	1.3

上塗り材:標準モルタル(1/3モルタル) 塗厚:約5mm、ETコート#600 塗厚:約1.5mm ETコート#800 塗厚:約1.5mm

各種接着剤・防水材等の上塗り性

シート防水で使用されます接着剤およびウレタン防水のプライマーを塗布してエクセルテックス防水材の耐性を調べた。

上塗り材	溶媒	エクセルテックス防水材の状態
エポキシ樹脂系(2成分形)接着剤	アセトン、メチルエチルケトン	○
ウレタン樹脂系(1成分形)接着剤	酢酸エチル、アセトン	○
ニトリルゴム系接着剤	アセトン、酢酸n-ブチル	○
ウレタン系防水プライマー	キシレン、エチルベンゼン、トルエン	○

※代表的な製品を用いて評価しました。(同じ種類の全ての接着剤及びプライマーが該当するものではありません)

製品性状

屋外・ 屋内用 防水材	エクセルテックス ET-100 主 材		F☆☆☆☆	32kg/セット ET-100 1缶 + ET-1号 1ケース
	外 観	白色乳濁液	粘 度	1400mPa・s
	主成分	変性EVA* エマルジョン	荷 姿	18kg〔缶〕
	不揮発分	53%	※EVA:エチレン酢酸ビニル 共重合樹脂	
	エクセルテックス ET-1号 硬化材		F☆☆☆☆	
	外 観	灰白色無機質粉体		
	主成分	特殊配合セメント (アルミナ系)		
	荷 姿	14kg〔ケース〕		

水槽類・
地下用
防水材

エクセルテックス **ET-300** 主材

F☆☆☆☆

外 観 白色乳濁液 粘 度 3000mPa・s
主成分 変性EVA* 荷 姿 18kg〔缶〕
 エマルジョン
不揮発分 56% ※EVA:エチレン酢酸ビニル
 共重合樹脂

42kg/セット

ET-300

1缶
+

ET-3号

2袋

エクセルテックス **ET-3号** 硬化材

F☆☆☆☆

外 観 灰白色無機質粉体
主成分 特殊配合セメント
 (アルミナ系)
荷 姿 12kg〔袋〕

エクセルテックス **ET-500** 主材

F☆☆☆☆

外 観 白色乳濁液 粘 度 1500mPa・s
主成分 変性アクリル 荷 姿 18kg〔缶〕
 エマルジョン
不揮発分 55%

54kg/セット

ET-500

1缶
+

ET-5号

2袋

エクセルテックス **ET-5号** 硬化材

F☆☆☆☆

外 観 灰白色無機質粉体
主成分 特殊配合セメント
荷 姿 18kg〔袋〕

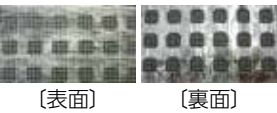
プライマー	ETプライマー		F☆☆☆☆
	浸透性に優れているため、老朽化した旧塗膜等の補強効果と各種基材への接着性向上の効果があります。		
	主成分	カチオン性 アクリルエマルジョン	
荷 姿		16kg(缶)	

仕上塗料	エクセルテックス ET-15 フラットトップ アクリル樹脂の仕上塗料で非歩行部位の防水層の保護・化粧として使用します。 主成分 水系アクリル樹脂 荷 姿 15kg〔缶〕 ●骨材なし ●ツヤ消しタイプ 	標準色 グレー (N-50 ～ N-55) ライトグレー (N-70)	特注色 ベージュ (19-60H) ブラウン (09-30F) グリーン (42-40H)
	エクセルテックス ET-25 トップコート アクリル樹脂の仕上塗料で屋上・ベランダ・ルーフバルコニー等の防水層の保護・化粧として使用します。防滑仕上で耐摩耗性に優れベランダ等で人が歩行する箇所への使用も可能です。 主成分 水系アクリル樹脂 荷 姿 20kg〔缶〕 ●骨材入り ●ツヤ消しタイプ 		
	エクセルテックス ET-35 ウレタントップ 耐候性・美観性に優れたアクリルウレタン系の仕上塗料です。防滑仕上を必要とする施工部位にも専用珪砂を現場混合することで対応可能です。 主成分 水系アクリルウレタン樹脂 荷 姿 16kg〔缶〕 ●ツヤ有りタイプ ※軽歩行の施工部位にご使用の際は、珪砂(600g/袋)をご用意しております。発注時にご用命ください。 	標準色 グレー (N-55) ライトグレー (N-70)	特注色
	エクセルテックス ET-45 シャイニートップ 高光沢で美観性に優れ、ET-35よりも更に1ランク上の耐候性・耐薬品性を有する2液アクリルウレタン樹脂塗料です。 主成分 2液水系アクリルウレタン樹脂 荷 姿 15kgセット〔段ボールケース〕 ・主 剤 13kg〔缶〕 ・硬化剤 2kg〔缶〕 ●ツヤ有りタイプ ※軽歩行の施工部位にご使用の際は、珪砂(600g/袋)をご用意しております。発注時にご用命ください。 	標準色 グレー (N-55)	標準色 ライトグレー (N-70)

遮熱塗料	BBトップクールAU 遮熱トップ		標準色	特注色 
	遮熱効果と耐候性に優れた2液水性アクリルウレタン系の仕上塗料です。 防滑仕上を必要とする施工部位にも専用珪砂を現場混合することで対応可能です。			 ライトグレー 日塗工 (25-65A～25-75A)
	水系 高日射反射率塗料			
	主成分 2液水系アクリルウレタン樹脂			
	荷 姿 15kgセット[段ボールケース] ・主 剤 13kg(缶) ・硬化剤 2kg(缶)			
※軽歩行の施工部位にご使用の際は、 珪砂(600g/袋)をご用意しております。 発注時にご用命ください。				

- 色見本の番号は日本塗料工業会2019年K版による色票番号です。
- この色見本は印刷によるもので、実際の色とは多少異なります。色見本帳をご参照ください。
- 仕上塗料の特注色は日本塗料工業会の色票番号で発注してください。なお遮熱塗料は日射反射率50%以上の淡彩色に限り製造いたします。納期、価格につきましては営業部までお問合せ願います。

製品性状

補強布	ETメッシュ 防水層の補強効果に優れています。塗材の浸透が良く柔軟性があり立上り役物回りの処理も容易です。 材 質 ビニロン不織布+ガラス繊維 三軸組 荷 姿 100m巻(巾104cm、10cm) 	ETメッシュ2 防水層の補強効果に優れています。塗材の浸透が良く柔軟性があり立上り役物回りの処理も容易です。 材 質 ビニロン不織布+ガラス繊維 二軸組 荷 姿 100m巻(巾104cm) 
	ETクロス 防水層の補強効果に優れています。 材 質 ポリエステル不織布 荷 姿 100m巻(巾105cm、10cm) 	ETハイパーメッシュ 有機繊維として最高レベルの強度と弾性を有する高強力な補強布です。 材 質 高強力ポリエチレン繊維 荷 姿 100m巻(巾103cm) 
通気緩衝 工法資材	TK通緩シート TKシステム専用の通気緩衝シート。シートの裏面は改質アスファルトの自着層となっており、表層は防水材との付着が良い不織布を採用しております。 材 質 改質アスファルト自着シート(表層)ポリエステル繊維不織布 荷 姿 15m巻(巾104cm) 	TKジョイントテープ TK通緩シートのジョイント処理用テープ。 材 質 ポリエステル特殊コーティングテープ(のり付き) 荷 姿 30mm巾×50m 3巻入[ケース] 
	TK端末テープ TK通緩シートの端末処理用テープ。 材 質 ブチルゴム系自着テープ(表層)ポリエステル繊維 荷 姿 75mm巾×25m 2巻入[ケース] 	TK補強メッシュ TK通緩シートのジョイント部・端末部のテープ貼付け後の補強処理に使用します。 材 質 ネット状ビニロン繊維テープ(のり付き) 荷 姿 140mm巾×50m 2巻入[ケース] 
	MTシート MTシステム専用の通気緩衝シート。部分的に穴の開いている特殊シートの表面から防水材を塗布し、その穴を利用して下地へ付着させます。シート裏面のアルミフィルムが下地と絶縁することで、部分的な浮かし貼り状態となり通気溝を確保します。 材 質 (表面)補強布ポリエステル(裏面)不織布+フィルム+アルミ箔 荷 姿 50m巻(巾100cm) 	NW接着剤 NWシステム専用の接着剤。 主成分 アクリル樹脂 荷 姿 18kg[缶] 
	NWシート NWシステム専用の通気緩衝シート。2層構造の合成繊維不織布です。 材 質 ポリエステル繊維不織布 荷 姿 50m巻(巾100cm) 	NWテープ NWシートのジョイント部の補強処理に使用します。 材 質 不織布テープ(のり付き) 荷 姿 50mm巾×50m 2巻入[ケース] 

ETコート#600

薄塗りタイプのポリマーセメントモルタルで、地下外壁、ピット等の保護材として使用します。

主成分 (混和液)アクリル樹脂
(粉 体)特殊配合セメント

荷 姿 A-1セット 26kg (混和液6kg+粉体20kg[ペール缶])
A-2セット 78kg (混和液18kg[缶]+粉体20kg[袋]×3)

A-1セット

A-2セット

ETコート#800

3成分形のエポキシモルタルで耐薬品性に優れています。

主成分 (主 剤)エポキシ樹脂
(硬化剤)変性脂肪族ポリアミン
(粉 体)特殊配合セメント

荷 姿 (主 剤) 2.5kg
(硬化剤) 2.5kg } 22kgセット
(粉 体)17.0kg [ペール缶]

ETコート#1000

2成分形のエポキシ塗料で侵食性の強い処理槽等のライニングに適しています。

主成分 (主 剤)エポキシ樹脂
(硬化剤)変性ポリアミン

色 グレー
荷 姿 (主 剤)12kg[缶]
(硬化剤) 3kg[缶]
15kgセット

EGエポモル

2成分型のエポキシモルタルで下水道防食工事の素地調整に使用します。

主成分 (主 剤)エポキシ樹脂
(硬化剤)変性ポリアミン

荷 姿 (主 剤)15kg[袋]
(硬化剤) 5kg[ケース]

セット 主剤[1袋]+硬化剤[1ケース]

EGエポプライマー

エポキシライニング材を塗布する前に用いる、2成分型水性エポキシプライマーです。

主成分 (主 剤)エポキシ樹脂
(硬化剤)変性ポリアミン

荷 姿 (主 剤)4kg[ポリパック]
(硬化剤)4kg[ポリパック]

セット 8kg[ケース]

EGコート#5000

有機酸・無機酸等の耐薬品性に優れており、下水道事業団の防食ランクC・D種にガラス強化材なしで適用可能です。

主成分 (主 剤)エポキシ樹脂
(硬化剤)変性ポリアミン

荷 姿 (主 剤)12kg[缶]
(硬化剤) 3kg[缶]
15kgセット

EGコート#5100

EGコート#5000の仕上用(しごき塗り)です。

主成分 (主 剤)エポキシ樹脂
(硬化剤)変性ポリアミン

荷 姿 (主 剤)12kg[缶]
(硬化剤) 3kg[缶]
15kgセット

エポアンダー

各種下地への付着性が良く、速強タイプなので翌日には防水材の施工が可能。また耐溶剤性にも優れておりウレタン等の下地調整材としても使用できます。

主成分 (主 剤)特殊ポリマー
(水性エポキシ樹脂・カチオン性アクリル樹脂)
(硬化剤)変性脂肪族ポリアミン
(粉 体)特殊配合セメント

荷 姿 (主 剤) 4kgポリ容器
(硬化剤) 4kgポリ容器
(粉 体)20kg袋
28kgセット

■施工可能面積

塗布厚み	0.5mm厚	1mm厚
塗布量	0.83kg/㎡	1.66kg/㎡
1セットあたり	33.7㎡	16.8㎡

■付着性

下地部材	付着強度 (N/㎡)	破壊場所
コンクリート	乾燥	2.92 下地破壊
	湿潤	2.35 下地破壊
フリンカータイル	2.96	下地破壊
エポキシ床材	3.32	下地破壊
ウレタン床材	2.77	下地破壊

下地
調整材

製品性状

保護材	ELコート#3000 ビスフェノールF型のエポキシパテで飲料水槽に適用します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 グレー 荷 姿 (主 剤) 20kg〔缶〕 (硬化剤) 10kg〔缶〕 30kgセット 	ELコート#3100 ビスフェノールF型のエポキシ塗料で飲料水槽に適用します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 ブルー 荷 姿 (主 剤) 20kg〔缶〕 (硬化剤) 5kg〔缶〕 25kgセット 
	ELコート#4000 エポキシパテで飲料水槽に適用します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 グレー 荷 姿 (主 剤) 20kg〔缶〕 (硬化剤) 10kg〔缶〕 30kgセット 	ELコート#4100 エポキシ塗料で飲料水槽に適用します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 グレー・ブルー 荷 姿 (主 剤) 20kg〔缶〕 (硬化剤) 4kg〔缶〕 24kgセット  危 4-1
	ELコート#4100シンナー ELコート#4100専用の希釈剤です。 荷 姿 15kg〔缶〕  危 4-1	ELコート#4200 耐候性に優れたアクリルウレタン塗料です。 主成分 (主 剤)アクリルウレタン樹脂 (硬化剤)イソシアネート 色 グレー・ブルー 荷 姿 (主 剤) 20kg〔缶〕 (硬化剤) 4kg〔缶〕 24kgセット  危 4-2
	ELコート#4200シンナー ELコート#4200専用の希釈剤です。 荷 姿 16kg〔缶〕  危 4-2	ELボンドSA JWWA K 143 浸出試験に適合する粘土状手練りタイプの充填剤です。水に濡れた面や水中でも硬化し優れた接着性能を発揮します。コンクリート・各種パイプとの付着性に優れ、クラック補修・パイプ回りの充填処理に最適です。 主成分 エポキシ樹脂系粘土状接着剤 荷 姿 (主 剤) 5kg〔缶〕 (硬化剤) 5kg〔缶〕 10kgセット 

■ ELボンドSAの各種下地・各種塗膜への付着性

	ELボンドSA	備考		ELボンドSA	備考
コンクリート	○	—	ETコート#1000 塗膜	○	EL汚水シリーズの仕上塗材
硬質塩ビパイプ	○	—	ELコート#3100 塗膜	○	EL-W工法の仕上塗材
鉄鉄管	○	—	ELコート#4000 塗膜	○	EL-WS工法の下塗材
ET-300/ET-3号 防水塗膜	○	—	ELコート#4100 塗膜	×	EL-WS工法の中塗材
ET-500/ET-5号 防水塗膜	○	—	ELコート#4200 塗膜	×	EL-WVS工法の仕上塗材
ETコート#600 塗膜	○	301工法、501工法の保護材	EGコート#5100 塗膜	○	EG-CT工法、EG-DT工法、503-CT工法、503-DT工法の仕上塗材
ETコート#800 塗膜	○	302工法、502工法の保護材			

■ ELボンドSAへの付着性 (ELボンドSAの上に施工する場合)

	ETプライマー	ET-300/ET-3号防水材	ET-500/ET-5号防水材	ELコート#3000	ELコート#3100	ELコート#4000	ELコート#4100	ELコート#4200
ELボンドSA	○	○	○	○	○	○	○	○

改修工事に使用するメリット



従来型の有機溶剤系塗膜防水材は、複雑部位への施工が容易でシームレスメンブレンで確実に施工でき、しかも軽量化などのメリットがありますが、ポリマーセメント系塗膜防水のエクセルテックス防水はそのことに加え、水系の材料構成であるためVOC（揮発性有機溶剤）を大気中に放出しません。また、有機溶剤系の刺激臭もなく火気も使用しませんので「安心・安全」です。
近年、環境対応への要望によりエクセルテックス防水の通気緩衝工法による屋上防水工事の採用が増えており、公営住宅・学校・病院・老人ホーム・住環境下のマンション等で実績を積み重ねております。

- ① 下地の種類による適応範囲が広く所謂「かぶせ工法」が可能です。
- ② 下地形状を問わず様々な屋根に施工可能です。
- ③ 屋上等には通気緩衝シートとの組合せにより、信頼度の高い防水層を形成します。
通気緩衝シートの種類
● TK通緩シート(改質アスファルトシート)
● MTシート(特殊構造シート)
● NWシート(不織布シート)
- ④ 従来型の仕上塗料の他に耐候性・美観性に優れた仕上塗料や遮熱塗料を用意しています。
- ⑤ 施工時に刺激的な溶剤臭がなく、現場作業時の臭気による問題を解消できます。
- ⑥ 耐久性に優れ、10年以上経っても防水層の劣化は小さく塗り重ねにより防水機能が回復します。
- ※下地調整材として適用範囲が広く付着力に優れた「エポアンダー」をご用意しております。

■ 厚生労働省の「室内空気ガイドライン」に定められた13の化学物質

対象物質		エクセルテックス
ホルムアルデヒド	フタル酸ジ-n-ブチル	対象物質は配合設計計画に含まれず 製造工程時及び施工時においても 使用しておりません
トルエン	テトラデカン	
キシレン	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
パラジクロロベンゼン	ダイアジノン	
エチルベンゼン	アセトアルデヒド	
スチレン	フェノブカルブ	
クロルピリホス	—	

ELシステム [エポキシライニング]

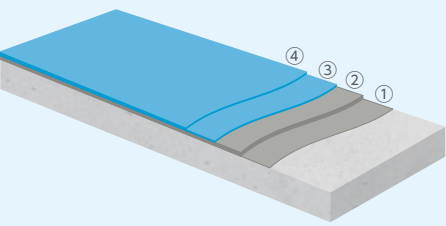
上水用防食工法

水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗装方法 / JWWA K 143:2017
水道施設の技術的基準を定める省令 (平成十二年厚生省令第十五号[最終改正 平成26年2月28日厚生労働省令第16号])



EL-W工法

EL-W工法に使用する 無溶剤型のエポキシ樹脂塗料は、原料に内分泌攪乱作用を有すると疑われる環境ホルモンのビスフェノールAを含有せず、塗装を行う作業者への安全と水道施設の環境保全に配慮したものです。

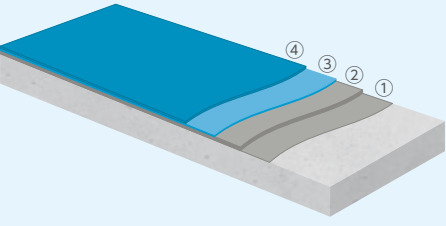


工程	使用製品	kg /㎡	塗り重ね時間 (20℃)	塗装方法
①素地調整	ELコート#3000	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムベラ
②素地調整	ELコート#3000	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムベラ
③エポキシ塗料	ELコート#3100	0.20	16時間以上～7日以内	ローラー ゴムコテ
④エポキシ塗料	ELコート#3100	0.20	16時間以上～7日以内	ローラー ゴムコテ

(7日以上養生)

EL-WS工法

EL-WS工法は、強靱なエポキシ樹脂ライニング層の上に耐候性に優れたアクリルウレタン塗料を用いることで太陽光のあたる屋外コンクリート施設に使用できます。



工程	使用製品	kg /㎡	塗り重ね時間 (20℃)	塗装方法
①素地調整	ELコート#4000	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムベラ
②素地調整	ELコート#4000	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムベラ
③エポキシ塗料	ELコート#4100	0.20	16時間以上～7日以内	ローラー ゴムコテ
④アクリルウレタン塗料	ELコート#4200	0.20	12時間以上～7日以内	ローラー ゴムコテ

(7日以上養生)

施工可能面積(㎡)

工 法	ELコート3000 (1セット)	ELコート3100 (1セット)	ELコート4000 (1セット)	ELコート4100 (1セット)	ELコート4200 (1セット)
EL-W	37.5	62.5	—	—	—
EL-WS	—	—	37.5	120	120

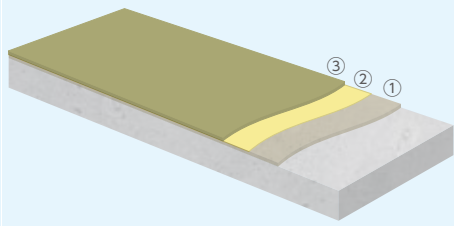
下水用防食工法

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル適合 / 日本下水道事業団

有機酸・無機酸等の耐薬品性に優れた無溶剤型エポキシ樹脂塗料を用いて、
下水道コンクリート構造物の腐食防止対策として使用するノンクロスのエポキシライニングシリーズです。

EG-AT工法

塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 A種適合 (日本下水道事業団)

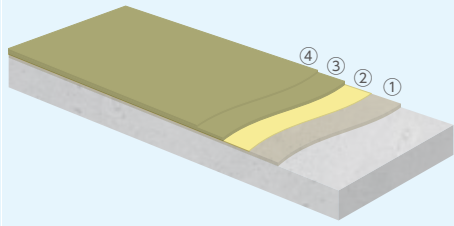


工程	使用製品	kg /㎡	塗り重ね時間 (20℃)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上～14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上～7日以内	ローラー
③シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ

(7日以上養生)

EG-BT工法

塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 B種適合 (日本下水道事業団)

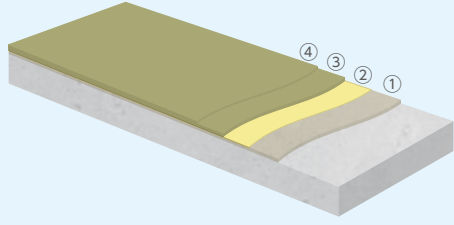


工程	使用製品	kg /㎡	塗り重ね時間 (20℃)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上～14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上～7日以内	ローラー
③上塗り	EGコート#5000	0.20	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
④シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ

(7日以上養生)

EG-CT工法

塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 C種適合 (日本下水道事業団)

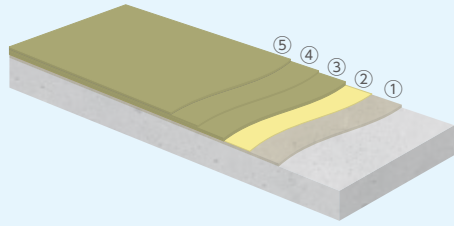


工程	使用製品	kg /㎡	塗り重ね時間 (20℃)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上～14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上～7日以内	ローラー
③上塗り	EGコート#5000	0.80	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
④シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ

(7日以上養生)

EG-DT工法

塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 D種適合 (日本下水道事業団)



工程	使用製品	kg /㎡	塗り重ね時間 (20℃)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上～14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上～7日以内	ローラー
③上塗り	EGコート#5000	0.80	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
④上塗り	EGコート#5000	0.80	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
⑤シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上～7日以内	金ゴテ ゴムゴテ

(7日以上養生)

施工可能面積(㎡)

工 法	EGエポモル (1セット)	EGエポプライマー (1セット)	EG-5000 (1セット)	EG-5100 (1セット)
EG-AT	20.0	53.3	—	37.5
EG-BT			75	
EG-CT			18.75	
EG-DT			9.375	

●温度 5 ～ 35℃以内、湿度 85%以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
●塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

●湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

●温度 5 ～ 35℃以内、湿度 85%以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
●塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

●湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

実績例



1 青梅市新庁舎 (東京都) 外部階段床 免震床:100 工法・免震ビト:101 工法
2 大阪第二警察病院 (大阪府) 地下外壁 消火水槽:301 工法
3 森永乳業㈱中京工場 (愛知県) 屋上:TK-1 工法 (改修)
4 大阪市東部中央卸売市場東部市場 (大阪府) 水槽:500 工法
5 長崎県市町村職員共済会館 (長崎県) テラス:120 工法 (現 130 工法)

6 市川市役所 庁舎 (千葉県) 雨水貯留槽・消防水槽:301 工法 緊急汚水貯留槽 503-D 工法
7 梅田阪急ビル (大阪府) トイレ:100 工法
8 三井アウトレットパーク滋賀竜王 (滋賀県) 汚水槽:503-C 工法 バルコニー:105 工法
9 大宮警察署等統合庁舎 (埼玉県) 水槽:301 工法
10 京都水族館 (京都府) 雨水貯留槽 雑用水槽他:500 工法

11 博多駅前 C-9 ビル (福岡県) 再生水水槽:500 工法 +EL-W 工法
12 福岡市消防局中央消防署 (福岡県) 中水槽・防火水槽・訓練用ビト:301 工法
13 佐賀北郵便局 (佐賀県) 屋上レクリエーション広場:MT-1 工法 (改修)
14 東三河バイオマス発電所 (愛知県) 冷却水槽:302 工法
15 中之島三井ビルディング (大阪府) 厨房:104 工法 (改修)

16 瀬長島ウミカジテラス (沖縄県) 地下外壁:300 工法
17 糸ノ古墳周辺地区体験学習館 (奈良県) ビト:301 工法 地下外壁:300 工法
18 港区立芝浦小学校・幼稚園 (東京都) 笠木 バルコニー:106 工法 消火水槽:500 工法
19 駐日バキスタン・イスラム共和国大使館 (東京都) 浴室・バルコニー:100 工法 各種水槽:500 工法
20 前橋赤十字病院 (群馬県) 排水・汚水槽:503-D・C・B・A 工法 消火水槽等:500 工法

※本カタログの内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。



ユニオン建材工業株式会社

本 社 〒531-0075 大阪市北区大淀南 1-5-1 ケイヒン梅田ビル 4階
TEL 06-6453-3563 FAX 06-6453-3830

東京営業所 〒140-0014 東京都品川区大井 1-45-2 ジブラルタル大井ビル 5階
TEL 03-6429-8346 FAX 03-6429-8347

<http://www.e-union.co.jp>

